

平成22年度

”函館・大沼・噴火湾ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 会長 金道 太朗	報告年月: 2011/3/31
---------------------	---------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
景観づくり	美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加	-	-	-	-	-		景観診断など既にも実施済みで、活動計画方針の目標は達成していると考えられる。今後は、美しい景観を目指した個別の具体的な活動を実施していけるよう検討を行ってきたい。	
		テーマごとのエリアの紹介	-	-	-	-	-			
	ビューポイントを発掘する	シーニックフォトクラブの設立	-	-	-	-	-	-		ビューポイントの発掘についても、ほぼ実施済みであるが、それをまとめたルートマップの正式な製作には至っていない。またビューポイント等や食、文化を融合させたバスツアーは毎年度実施しており、集客力もそれなりに伸びている。今後は、バスツアーの事業化を視野に入れた内容のブラッシュアップや既存イベントと連携したフォトコンテストなどを実施していきたい。
		シーニックバスツアーの開催	1	カーボンオフセット型シーニックバスツアー①	シーニックdeナイト2011実行委員会	平成23年2月5日	18名	H A - 1		
			2	カーボンオフセット型シーニックバスツアー②	シーニックdeナイト2011実行委員会	平成23年2月6日	13名			
		シーニックルートマップの作成	-	-	-	-	-	-		
	フォトコンテストの開催	-	-	-	-	-	-			
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	植栽活動の実施	清掃活動の実施	3	シーニック清掃活動	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成22年4月29日	400名		ビューポイント周辺の景観向上として、ルート全体で取り組むシーニック清掃活動やはこだて花かいどうに代表される植栽活動が盛んな地域である。今後も継続して活動エリアや参加人数の拡大に向けて、連携等を視野に入れながら検討を行ってきたい。
			植栽活動の実施	4	はこだて花かいどう	函館花いっぱい道づくりの会	平成22年6月12日 ～ 平成22年10月5日	2,200名		
				5	さわらフラワーロード	森町はないっばい運動推進協議会	平成22年5月22日 ～ 平成22年10月末	1,500名		
6				道道函館空港線植栽活動	函館ウェルカムロードの会	平成22年6月5日 ～ 平成22年10月2日	125名			
7				市道本通富岡通1号植栽活動	NPO法人スプリングボードユニティ21	平成22年6月5日 ～ 平成22年10月10日	105名			
景観阻害の改善	-	-	-	-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 会長 金道 太郎	報告年月: 2011/3/31
---------------------	---------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括		
地域固有の資源を活かした観光メニューの創出		バル街V協賛イベント「街なか探訪・学び」ツアー (H19: シーニックバスツアー)	8	はこだて菜の花まつり	はこだて菜の花プロジェクト	平成22年5月15日	500名		地域固有の資源である菜の花や縄文などの参加団体の個別活動は盛んに行われており、毎年度継続して実施されている。今後は、それらの活動の連携を視野に入れた検討を行い、実践していきたいと考える。		
			9	縄文の糸づくり	北の縄文CLUB	平成22年6月26日	15名				
			10	土器づくり体験	北の縄文CLUB	平成22年7月25日	13名				
			11	縄文染め体験	北の縄文CLUB	平成22年10月3日	20名				
			12	シーニックdeナイト2011	シーニックdeナイト2011実行委員会	平成23年2月1日 ～ 平成23年2月13日	1,000名以上	H A - 2			
			13	「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶ」ツアー (H19: シーニックdeナイト2008)	NGO函館自然観察会	平成22年10月17日	15名				
			「鹿部町間欠泉とホタテの耳吊り体験」ツアー (H19: 夏休み体験講座、恵山観察会)	-	-	-	-				
	観光振興	活動団体の連携強化と観光の質の向上	縄文文化を再現し体験する歴史探訪ツアー	-	-	-	-	-			活動団体が連携し、観光客に対するおもてなしを向上させ、ルートの魅力をアップする活動が盛んに行われている。今後も継続して活動を実践できるよう、資金面等のバックアップ(補助金活用)体制を取っていきたい。
			西部地区の歴史的街並み探索ツアー	-	-	-	-	-			
			温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー	-	-	-	-	-			
			ルート全体で取り組むスマイルキャンペーン (H19: バリアフリーボランティア事業)	14	函館バリアフリーボランティア研修会	函館バリアフリーボランティアプロジェクト実行委員会	平成22年7月17日、18日	18名			
				15	函館バリアフリーボランティア	函館バリアフリーボランティアプロジェクト実行委員会	平成22年9月11日、12日	38名			
				16	はこだてスマイルキャンペーン	函館商工会議所、函館商工会議所青年部	平成22年10月1日 ～ 平成22年12月31日	地域住民、沿線企業など多数			
		場所を変えた観光分科会の開催 (H19: 縄文の道フォーラム)	-	-	-	-					
歴史を学び活かす		「函館の歴史を学ぶ」講座	17	函館山の歴史をめぐる～野の花と三十三観音をたずねて～	NPO法人NPOサポートはこだて	平成22年4月20日、5月17日、18日、6月22日、9月28日、平成23年2月9日、16日、3月29日	280名		歴史を学び活かす講座としては数少ないが、バスツアーや自然観察会など、別に列記している活動とリンクしているものも多い。今後も単体としての講座というよりは、ツアーや自然観察会などと組み合わせた活動を実践していきたい。		
		「函館の港を船上から学ぶ」講座 (H19: アンギン編み&勾玉作り)	-	-	-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 会長 金道 太郎	報告年月: 2011/3/31
---------------------	---------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ&ラリーの開催 (H19: 赤松観察会)	-	-	-	-	-	-	きじひき森林公園や赤松街道などの自然を守るための活動として、植樹やこも巻きなどの活動を行っている。これらの活動と連携した自然観察など既に連携した取り組みもっており、今後も更なる連携を視野に入れた活動を展開していきたい。	
	横津岳ガイドツアーの開催 (H19: 恵山観察会)	-	-	-	-	-	-		
	自然環境教育プログラムの提供	18 きじひき森林公園散策と広葉樹の植樹会	18	きじひき森林公園散策と広葉樹の植樹会	NGO函館自然観察会	平成22年5月16日	25名		
		19 シーニックの森づくりにおける苗木の選木作業	19	シーニックの森づくりにおける苗木の選木作業	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成22年11月5日	7名		
		20 赤松観察会	20	赤松観察会	赤松街道を愛する会	平成22年7月31日	40名		
		赤松街道こも巻き		赤松街道こも巻き	赤松街道を愛する会	平成22年10月10日 ※雨天により中止			
赤松街道こも外し		赤松街道こも外し	赤松街道を愛する会	平成23年3月13日 ※地震の関係で中止					
ガイドの発掘・育成	大沼公園ボランティアガイド研修会	21 もりまち桜まつりにおけるボランティアガイド	21	もりまち桜まつりにおけるボランティアガイド	森町観光ボランティアガイドの会	平成22年5月3日 ～ 平成22年5月16日	3,000名	今年11年ぶりに駒ヶ岳の一般登山が開始されたのをきっかけに、駒ヶ岳の詳しい知識をつけたガイドを発掘育成することを目的に駒ヶ岳ガイド養成講座が行われた。また森町の桜まつりの時期に合わせたガイドを育成する活動も行われており、地域の資源を広く観光客にPRすることができている。今後も継続して実施し、ガイドの実践場所等を提供できるようなプログラムを検討していきたい。	
		22 駒ヶ岳ガイド養成講座	22	駒ヶ岳ガイド養成講座	大沼体験観光づくり実行委員会	平成22年8月10日、 10月3日	10名		
	ガイド発掘・育成のための連携づくり	-	-	-	-	-	-		
地域づくり	地域と来訪者の心をつなぐ	23 光の街の手工芸家たちの作品展5	23	光の街の手工芸家たちの作品展5	函館手工芸の会	平成22年9月7日 ～ 平成22年9月14日	3,500名	参加団体により取り組まれている展示などの個別活動が実施されている。どちらかというと地域の方々を対象とした活動ではあるが、まずは地域の方々積極的にそれらの活動に参加してもらうことで、地域への誇りが生まれ、観光客にも通じていくと思われる。今後も継続して実施していきたい。	
		24 はこだてカルチャーナイト	24	はこだてカルチャーナイト	はこだてカルチャーナイト実行委員会	平成22年10月8日	5,590名		
		25 青函ツインシティ押し花・アートクラフト展10	25	青函ツインシティ押し花・アートクラフト展10	青函ツインシティ押し花・アートクラフト展実行委員会	平成22年9月30日 ～ 平成22年10月3日	1,000名		
		26 NPOまつり	26	NPOまつり	NPOまつり実行委員会	平成22年9月26日	1347名		
内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧作成 (H19: 代表者会議の運営体制の変更など)	27	ルートミーティング	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成23年2月26日	52名	H A - 3	参加団体の意識を醸成することを目的に、昨年度より継続してルートミーティングを開催した。今年度は、ルートの観光の在り方等についての講演会を開催し、活動団体同士の交流を深める懇親会も実施した。今後もテーマを変えていながら継続して実施していきたい。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 会長 金道 太郎	報告年月: 2011/3/31
---------------------	---------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
地域メディアとのタイアップ	FMいるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載	-	-	-	-	-	-	地域メディアとのタイアップ事業は実施されていないが、各事業で新聞やHP等への掲載は活発に行われている。
	FMいるかの特別番組による情報発信	-	-	-	-	-	-	
多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成 (H19: はこまち通信作成によるPRなど)	28	シーニック絵本「辨開風次郎翁物語」のウェブ版作成	八雲町役場	平成22年3月～5月	3名		シーニック情報拠点である函館市地域交流まちづくりセンターが年4回発行している「はこまち通信」の中で、シーニック特別ページを設け、ルートの主な活動情報や報告を行っている。地域の方々が目にする機会も多いことから、今後も継続して掲載していきたい。
		29	はこまち通信作成	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成22年4月～平成23年3月	3名		
		30	シーニック絵本原画展	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成22年6月4日～平成22年6月24日	100名		
	地域資源を説明するカードの作成	-	-	-	-	-		

カーボンオフセット型 シーニックバスツアー①

【概要】 2月1日（火）～13日（日）に行われたシーニックdeナイトの鑑賞と地域の食や体験、文化等を組み合わせた着地型観光バスツアーを企画し、地域住民や観光客に対して募集を行い、実施した。当日は、函館から大沼に向かい、わかさぎ釣りを体験し、駒ヶ岳を見渡せる湖畔にあるお店で地域の食材を使った料理を食べ、その後日暮山でスノーシュー体験をし、最後に大沼国定公園内で行われたシーニックdeナイト2011の鑑賞をして、函館に戻るといった内容。当日は、（社）七飯大沼国際観光コンベンション協会からのジンギスカンのサービスもあり、参加者全員満足していただいた。

【日時】 平成23年2月5日（土） 10:30～19:30

【場所】 大沼

【企画】 シーニックdeナイト2011実行委員会

【実施】 株式会社ケーエス北の星観光バス

【料金】 大人4,500円 小人（小学生以下）3,500円

【参加人数】 18名



▲スノーシュー体験in日暮山



▲日暮山山頂での記念撮影



▲シーニックdeナイトin大沼

シーニックdeナイト2011

- 【概要】 シーニックdeナイトは、函館市や大沼などの国道や道道沿線を中心に、手作りのワックスキャンドルを設置点灯するイベントで、平成18年度から継続して実施しているルート連携活動です。ワックスキャンドルによるほのかな灯りは、ドライバーや地域住民、観光客の心を温かくし、安らぎを与えてくれます。
- 【日時】 平成23年2月1日（火）～13日（日）
- 【場所】 函館市地域交流まちづくりセンター周辺、大沼国定公園、南茅部公民館周辺、西部地区赤レンガ倉庫群、旧戸井線（富岡交番付近）、函館新道
- 【主催】 シーニックdeナイト2011実行委員会
- 【参加人数】 1,000名以上



▲函館市地域交流まちづくりセンター周辺



▲旧戸井線



▲函館新道



▲西部地区赤レンガ倉庫群

ルートミーティング

【概要】 平成21年度に「参加団体が行っている活動の情報共有と交流促進」をテーマに第1回ルートミーティングを開催したのに引き続き、今年度の第2回ルートミーティングでは、「ルート内の観光振興の取り組みの活性化と交流促進」をテーマに開催しました。第1部では、3名の方の講師をお招きして、それぞれ「新幹線到来に向けて目指すべき函館観光」、「函館における着地型観光の現状・ニーズ」、「観光客へのおもてなし」をテーマに講演頂きました。第2部では、交流促進に欠かせない交流会を開催しました。

【日時】 平成23年2月26日（土） 15:30～21:00

【場所】 函館湯の川温泉 湯の浜ホテル

【主催】 函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【参加人数】 52名



(左上) 第1部会場風景



(左下) 交流を深めるためには、お酒は欠かせません



▲金道会長の挨拶（左は司会を務める折谷事務局長）



▲シーニックではオブザーバーでもある奥平准教授による講演

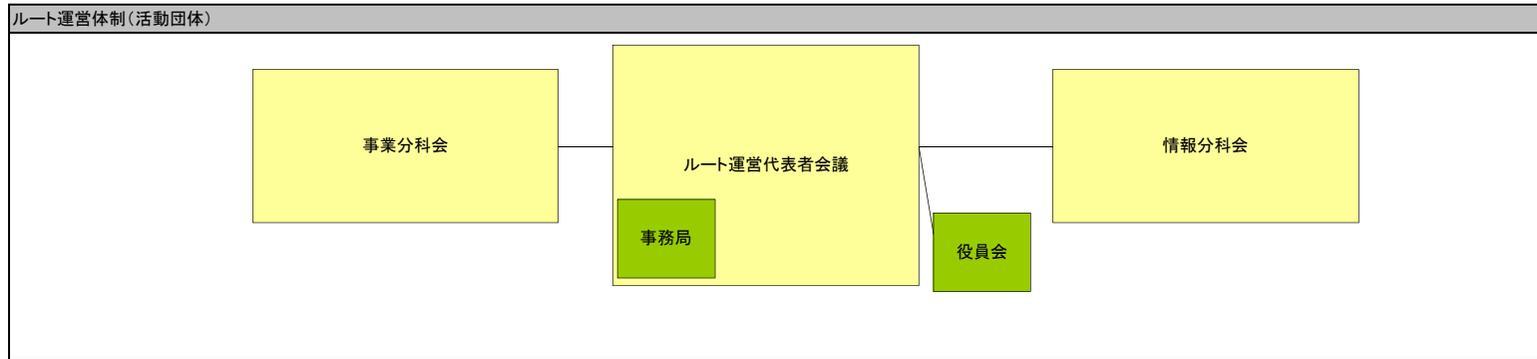


▲シーニックと言えば、もちろん和泉さん。最後の総括でシーニックへの思いをお話し頂きました

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 会長 金道 太郎	報告年月: 2011/3/31
---------------------	----------------------------	-----------------

<p>活動団体</p> <p>函館商工会議所、(社)函館国際観光コンベンション協会、函館湯の川温泉旅館協同組合、函館商工会議所青年部、函館21の会、函館湯の川温泉旅館協同組合青年部、NGO函館自然観察会、NPO法人スプリングボードコミュニティ21、北の縄文CLUB、NPO法人函館市埋蔵文化財事業団、NPO法人どうなん「学び」サポートセンター、NPO法人函館エコロジークラブ、活力ユニット、函館すぶれっと、はこだて菜の花プロジェクト、ふしぎな花倶楽部 はまなす会、函館花いっぱい道づくりの会、函館手工芸の会、(財)北海道国際交流センター、NPO法人NPOサポートはこだて、戸井コミュニティビジネス研究会、北斗市観光協会、kazeru & kazeru、(社)七飯大沼国際観光コンベンション協会、七飯町商工会、鹿部温泉観光協会、森町花いっぱい運動推進協議会、森町観光ボランティアガイドの会、八雲観光協会</p>
--



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議			23日				20日						今年度は全般的に会議開催数が少なくなっており、次年度は総会という形で年度初めに開催し、年度末にも1回開催して、情報共有等を図っていく必要がある。
	役員会									13日				
	事業分科会													
	情報分科会													

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2011/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営行政連絡会議													今年度は、行政連絡会議が開催できなかったため、来年度は議事内容等を含め、年度初めに全体計画を練る必要がある。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2011/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
景観	美しい景観とは何かについて考える	-	-	-	-		-	
	ビューポイントを発掘する	カーボンオフセット型シーニックバスツアー①	平成23年2月5日	函館開発建設部	行政連絡会議への参加呼びかけを行うことにより、カーボンオフセット型「シーニックdeナイト2011鑑賞バスツアー」のPR周知に努めるとともに、当バスツアーの参加を行った。		1	
		カーボンオフセット型シーニックバスツアー②	平成23年2月6日	函館運輸支局			2	
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	シーニック清掃活動	平成22年4月29日	函館開発建設部、函館運輸支局、渡島総合振興局、函館市、七飯町	行政連絡会議への活動の周知を行い、活動団体との連携を深めることができた活動が多かった。ルート内では植栽活動が盛んに行われていることもあり、それらの活動をまとめて周知し、更なる連携を図ることが必要である。		3	
		はこだて花かいどう	平成22年6月12日(植栽日)、7月10日、8月14日、9月11日(以上維持活動日)、10月5日(撤去日)	函館開発建設部、函館運輸支局、渡島総合振興局、函館市			4	
		さわらフラワーロード	平成22年5月22日～平成22年10月末	函館開発建設部、森町		シーニック清掃活動のルート全体活動については、行政連絡会議への参加呼びかけを行うことにより、シーニック清掃活動の周知に努めるとともに、各地で行われている清掃活動に参加した。はこだて花かいどうでは、花かいどうの全体会議への出席や打合せなどにより活動の全体を把握するだけでなく、植栽前の草刈りや堆肥の搬入、マルチシートの敷設等の準備にも参加した。また植栽日には、除雪ステーションの敷地を開放したり、活動に参加するなど様々な支援を行った。さわらフラワーロードや道道函館空港線植栽活動、市道本通富岡通1号植栽活動においては、植栽日などへの参加を行った。		5
		道道函館空港線植栽活動	平成22年6月5日～平成22年10月2日	渡島総合振興局、函館市			6	
		市道本通富岡通1号植栽活動	平成22年6月5日～平成22年10月10日	渡島総合振興局、函館市			7	
	自然を守りながらうまく活用していく	きじひき森林公園散策と広葉樹の植樹会	平成22年5月16日	-	きじひき森林公園散策と広葉樹の植樹会については、行政連絡会議への参加呼びかけを行うことにより、活動の周知に努めた。また、シーニックの森づくりにおける苗木の選木作業では、森づくり用地の提供や選木作業の参加を行った。赤松観察会では、HPIによる活動の周知を行うとともに、参加者取りまとめなどの事務局も担った。		18	
		シーニックの森づくりにおける苗木の選木作業	平成22年11月5日	渡島総合振興局、北斗市			19	
赤松観察会		平成22年7月31日	函館開発建設部、七飯町			20		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2011/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
地域	ガイドの発掘・育成	もりまち桜まつりにおけるボランティアガイド	平成22年5月3日 ～ 平成22年5月16日	-	駒ヶ岳ガイド養成講座では、企画の検討や参加者取りまとめなどの事務局を担った。	景観分野の活動と比べると、参加団体の個々の取り組みが多く、行政連絡会議への十分な周知が行われておらず、十分な連携を図ることができなかった。今後は、それら個別の活動を月単位でまとめて周知することにより、連携を図ることができるのではないかと考えられる。	21	
		駒ヶ岳ガイド養成講座	平成22年8月10日、10月3日	七飯町			22	
	地域と来訪者の心をつなぐ	光の街の手工芸家たちの作品展5	平成22年9月7日 ～ 平成22年9月14日	-	参加団体の個々の取り組みとして行われ、ルート全体活動として行われていないため、行政連絡会議への参加呼びかけなどの周知を行うことができなかった。今後は、個別活動も含めて行政連絡会議に周知を徹底していきたい。		23	
		はこだてカルチャーナイト	平成22年10月8日	-			24	
		青函ツインシティ押し花・アートクラフト展10	平成22年9月30日 ～ 平成22年10月3日	-			25	
		NPOまつり	平成22年9月26日	-			26	
	内部的な関心の共有、意識醸成	ルートミーティング	平成23年2月26日 ～	函館開発建設部、函館運輸支局、渡島総合振興局、北斗市	ルートの観光振興の取り組みの活性化とルート内の交流促進を目的に昨年度から始まったルートミーティングは今年度で2回目。ルート運営行政連絡会議への参加呼びかけを行い、当日多くの関係者が参加した。		27	
	地域メディアとのタイアップ	-	-	-	-		-	-
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニック絵本「辨開風次郎翁物語」のウェブ版作成	平成22年3月～5月	八雲町	昨年度ルート運営代表者会議が製作したシーニック絵本「辨開風次郎翁物語」の周知のために、絵本のウェブ版を作成した。		28	
		はこまち通信作成	平成22年4月 ～ 平成23年3月	-			29	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2011/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
		シーニック絵本原画展	平成22年6月4日 ～ 平成22年6月24日	-			30
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	はこだて菜の花まつり	平成22年5月15日	-	シーニックdeナイト2011は、平成23年2月1日～13日まで実施されたが、同年1月に3回、光の小径との連携事業として「合同ワックスキャンドル製作体験会」を実施し、キャンドルづくりに参加した。また、ワックスキャンドルづくりに必要な牛乳パックの収集・提供も行った。シーニックdeナイト2011当日もキャンドルの設置・点灯などの準備のため参加した。	景観分野の活動と比べると、参加団体の個々の取り組みが多く、行政連絡会議への十分な周知が行われておらず、十分な連携を図ることができなかった。今後は、それら個別の活動を月単位でまとめて周知することにより、連携を図ることができるのではないかと考えられる。	8
		縄文の糸づくり	平成22年6月26日	-			9
		土器づくり体験	平成22年7月25日	-			10
		縄文染め体験	平成22年10月3日	-			11
		シーニックdeナイト2011	平成23年2月1日 ～ 平成23年2月13日	函館開発建設部、函館運輸支局、渡島総合振興局、函館市			12
		大千軒殿様街道ツアー	平成22年10月17日	-			13
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	函館バリアフリーボランティア研修会	平成22年7月17日、18日	函館運輸支局	函館を訪れる観光客に対する施設説明や行き先案内、観光案内を目的とした活動が函館バリアフリーボランティアであり、その研修会の司会・講師を務めるとともに、実地活動にも参加した。	14	
		函館バリアフリーボランティア	平成22年9月11日、12日	函館開発建設部、函館運輸支局		15	
		はこだてスマイルキャンペーン	平成22年10月1日 ～ 平成22年12月31日	函館商工会議所		16	
	歴史を学び活かす	函館山の歴史をめぐる ～野の花と三十三観音をたずねて～	平成22年4月20日、5月17日、18日、6月22日、9月28日、平成23年2月9日、16日、3月29日	-	参加団体の個々の取り組みとして行われ、ルート全体活動として行われていないため、行政連絡会議への参加呼びかけなどの周知を行うことができなかった。今後は、個別活動も含めて行政連絡会議に周知を徹底していきたい。	17	

5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:函館・大沼・噴火湾ルート	報告者:函館・大沼・噴火湾ルート 会長 金道 太郎	報告年月:2011/3/31
--------------------	---------------------------	----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
シーニックバイウエイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開や人材の育成等によるルート活動の基盤の強化に努められたい。	はこだて花かいどうでは、継続した活動などによる沿道景観向上や地域への貢献が認められ、みどりの愛護国土交通大臣表彰を受賞した。また、シーニックdeナイトでは、ワックスキャンドル製作体験会や実施当日の状況がNHK全国放送されるなど、観光客の集客につながるとともに、新聞記事でも多数掲載されるなど地域への浸透に努めた。シーニックの森づくり活動においても、その分野においては専門である行政機関の方から指導を仰ぎ、森づくり活動に展開するなど人材育成の部分においても強化することができた。また、様々な補助金を獲得して、地域の活動に充てるなど資金面として活動の基盤強化にも務めた。	

ルート名称:函館・大沼・噴火湾ルート	報告者:函館開発建設部	報告年月:2011/3/31
--------------------	-------------	----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
シーニックバイウエイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開や人材の育成等によるルート活動の基盤の強化に努められたい。	ルート運営行政連絡会議への情報発信によるルート内での情報共有や各機関のHPを活用した情報発信によるルート外への情報発信を行った。また、様々な活動に参加し、活動へのアドバイス等による人材育成の強化にも務めた。	